

2023年6月14日

## 日本ストライカー 多機能型モデルのオートショック AED 「ライフパック CR2 オートショック」発売

日本ストライカー株式会社（本社：東京都文京区）は、同社オートショック AED 2機種目となる「ライフパック CR2 オートショック」の販売を開始した。救助者の心理的負荷を軽減するオートショックタイプの AED として新たな選択肢を提供する。

オートショック AED とは、心停止状態にある傷病者の心電図解析の結果、電気ショックが必要と判断された場合に救助者が電気ショックボタンを押すことなく適切なタイミングで電気ショックを与える自動体外式除細動器（AED）。救助者が電気ショックボタンを押すことをためらって適切な電気ショックが行われないうリスクを低減することを目的に開発され、2021年には当社は日本初のオートショック AED 「サマリタン PAD360P」の製造販売承認を取得している。

「ライフパック CR2」は、本体の蓋を開けてすぐに傷病者に装着できる「クイックステップ電極」を搭載するとともに、エネルギー出力が最大 360 ジュールまで漸増するよう設計されており、迅速で効果的な除細動を提供する。また、Wi-Fi を通じてクラウド上で傷病者データおよび製品の保守管理情報を一元管理できる機能や、外国語対応や未就学児モードへの切り替え、騒音下でも指示音声を聞き取りやすいクリアボイステクノロジーなど多岐にわたる機能を備えている。このたび販売を開始した「ライフパック CR2 オートショック」は、これらに加えてオートショック機能を装備した。

重篤な不整脈など心臓が原因で突然心停止になる人は 2021 年度の 1 年間に約 8 万人にのぼり、そのうち一般市民が目撃した傷病者は 26,500 人と報告されている。一方、AED の使用率は 4.1%にとどまり救命率の低下が喫緊の課題だが、その一つの要因として電気ショックを与える際の救助者の心理的負荷が挙げられる。日本ストライカーでは、救助者の心理的負荷を軽減するオートショック AED を含む多様な AED 製品を展開することで、救命率の向上に多大に貢献するとしている。